



白鵝種高同落合板

主な内容

あいさつ／3ページ
学校の様子／8・9・10ページ
先生・卒業生／5・6・7ページ

NO. 6 2003.4.1

発行/岩手県立種市高等学校同窓会
〒028-7912 岩手県九戸郡種市町第38地割94番地110
TEL 0194-65-2145 FAX 0194-65-5654
ホームページアドレス <http://www2.iwate-ed.jp/tan-h/>
編集/岩手県立種市高等学校同窓会会報編集委員会

野球部新人戦



野球部主将

海洋二年 大村昌徳

僕達種市高等学校野球部は、今年の新人県大会地区予選で二勝して久慈地区代表となり、三十一年ぶりに県大会にコマを進めることができました。県大会に行くまでには、たくさんの練習試合と練習をしました。

県大会の一回戦の相手は甲子園にも何回か行っている盛岡中央高校でした。盛岡中央には八回コールド10対3の大差で負けてしましました。とても悔しかったです。三十一年ぶりの県大会は二時間半で終わってしまいました。

野球部監督

横葉和浩先生

夏の大会も終わり三年生が抜け新チーム十一人でのスタートでした。夏休みの練習は午前中でバッティング練習を中心に行なったものでした。連携プレー等は練習試合を積み重ねて対応しようと考えていました。練習試合の勝敗も五分五分で、大差で負けたことはない、点を取っ

げた試合はなく、点を取られていても、追いつき接戦となつた

りまずまずの戦績でした。

した。練習試合では六対六で引き分けたことで選手は自言

先頭打者にライトオーバーのラ
を持つて挑みました。一回表、

も良い経験だったと思います。県大会に行けることができたのも監督である横葉先生をはじめ長、畠川機関長そして野球部員の親の支えがあったからだと思います。また、前キャプテンの上野さんをはじめ三年生が来て指導してくれたり、練習試合では墨審を手伝つてもらつたお陰だと思っています。

県大会では一回戦で負けたけれども、僕達を支えてくれる人達、そして自分達のためにも冬の時期に体力をつけて春季大会でもう一度県大会に行きます。

今ニングホームランを打たれましたが、二回に三点を取り逆転し、七回には一気に四点を取り引き離すことができました。中盤何度かピンチの場面もありましたが、ピッチャーが相手打者をかわし、野手の好プレーもあり後続を断ち、七対三で勝利することができました。二回戦の対久慈水産では先制はするものの追加点を取ることができず、苦しい試合展開でしたが、四対二で勝利し、念願の県大会出場を果たすことができました。

県大会の開会式では、他の出場校より人数の少ない行進でしたが、体格も見劣りすることなく堂々としたものでした。県大会一回戦の相手は強豪の盛岡中央高校で地区大会をすべてコ

ルドで勝ち上がってきたチームでした。初回は長打の連続で二点を先制し、ランナーを残し一気に大量得点を奪うチャンスはありませんでしたが、もう一本がでず、二回に追いつかれその後逆転されましたが、四回二塁にランナーを置き五番大村の打席。打った打球は、一瞬逆転のホームランかと思われましたが、ファン直撃の二塁打で三対三の同点に追いつき、ここでも逆転のチャンスに凡退となり、リズムに乗ることができませんでした。

五回守備の乱れから五点を失い八対三となりました。その後、六回と八回に一点ずつ取られ、結局十対三で敗れてしましました。前半のチャンスを生かすことができず中盤での守備の乱れからの失点で敗れるという悔しい試合となりました。

今回、県大会に出場し、いい経験をさせてもらうことができました。この経験を生かせるよう冬場のトレーニングで筋力アップし攻撃力をつけ、また苦しい時に守りきれる精神的な面も鍛え、春もう一度県大会に出場し、一勝できるよう頑張らせたいと思います。

最後に、地区大会、県大会と応援に来て頂いたご父兄、応援団、先生方に御礼申し上げます。また、日頃より種市高校野球部にご支援ご指導を頂いている方々に心から感謝を申し上げます。

前回出場の思い出と



31年前の野球部

住民で盛り上がっていた。運動会でナニヤドヤラ、柔道の型、鹿糠迄の

三十一年前を思い起こす事にそう時間はかからなかつた。丁度今と似て久慈高の制服を三年生、セーラー服を一、二年生が着て圧倒的な女子生徒。

当時は全ての学校行事に地域

三十一年前を思い起こす事にそう時間はかからなかつた。丁度今と似て久慈高の制服を三年生、セーラー服を一、二年生が着て圧倒的な女子生徒。

当時は全ての学校行事に地域

現 福岡工業監督
(S48年度卒)



ロードレースに階上岳遠足、種高祭後夜祭で他校生との交流フオーラダンスでは体育館に入り切れず苦情。人への波。そんな中クラブ活動はと言えば個人戦入賞者が出来る程度。

昭和四十六年秋にこけら落しとなつた軽米球場は、アスファルトの匂いのする

内野でした。潜工科実習用のジブシートラックに母衣(幌)をかけ道具と十名の選手が穴だらけの山道を。畠山旅館に着く頃はみんな排気ガスに酔つていたが、二回戦からの登場で体調も戻り沼宮内、久慈農林、平館と撃破し優勝。

その源は、夏休みの柔道、陸上部との合同合宿でボールを使わない練習。それと三年生が一名ぬけただけの経験豊富さだった。とにかく不自由した。特に潜水コースの選手は実習で船酔い、そして学校へ移動に徒歩。

部員も二十名。第二十四回秋季東北地区福岡

久慈農林、平館と撃破し優勝。

久慈農林、平館と撃破し優勝。

大会成績	
一回戦	不戦勝
二回戦	沼宮内 八対一
準決勝	久慈農 七対三
決勝	平館 三対二
県大会(一関一G)	
一回戦	
一商工	○対七

選手への激励

普段クールな板橋監督(現久慈商業校長)の高笑いも印象的だった。これをきっかけに生徒もふえ、校舎も増築屋根のトタン色が物語ついた事。

それ以来の遠い道のりをみごと達成した後輩に感謝し、当時の選手、中村科長と目が合つたライジングスタジアムでの喜びに私自身、福岡工業監督として福岡を破り県大会出場、最良の年。三十年以上前レスリングは勿論、柔道、テニス、卓球、ブルバーン、マンドリン、理科部が県のトップクラスに登りつめたことを走馬灯のように思い起こすことが出来た。

がんばれ！ 種市高校

頑張れ!! 種高

会津喜多方ラーメン 坂内

歌舞伎町店・歌舞伎町一番街店・三光町店・調布店

潜水工事一般
伊藤海事工業有限会社

代表取締役 増田 達也

T210-0861 川崎市川崎区小島町9-8
TEL 044-266-2406 FAX 044-266-2408

南部のゆきと雪の里 たねいち

種市町



岩手県九戸郡種市町第23地割27番地

TEL 0194-65-2111 FAX 0194-65-4334

まずもつて、平成十四年度に卒業された九十二名の新会員を全会挙げて、歓迎致します。新会員の皆様は、上級学校および社会の新たな人生において夢を抱き、希望を持ち、織細且つ大胆に翔ばたいて自身の可能性に大いにチャレンジして下さい。

また、本会々員皆様におかれましては、厳しい景況が続く中ではありますが、ご健勝にお過ごしのこととお察し申し上げます。そして、このような折りに



同窓会長 玉澤 修
(昭和44年度卒)

未来に 希望を

同窓会長
学校長

挨拶

こそ、知恵と気力と体力を遺憾なく發揮し、種高同窓生の輪も活かし頑張り抜いて下さい。

さて、岩手県での県立高校を取り巻く環境は、少子化現象の影響から続廃合の高校再編のただ中にあります。幸い母校種市高校は、平成十五年度の普通科一学級減の措置を免れましたが、次年度以降の状況は予断を許さないものと予想されますので、本会としても昨年に引き続いで、政側に対しても積極的に働き掛けて行きたないと考えております。

このことにつきましては、学校側および在校生に対しまして、中学生にとって種市高校の普通科・海洋開発科が魅力あるものとなるような思考と努力を強く要望致します。

次に、未来に希望を持つて立つ卒業生の就職のことについてですが、世の中どこも就職難です。種市高校においても他の例に漏れません。本会々員で企業の経営者または雇用に携わっている方は、どうかご配慮賜りますよう希望致します。

最後に会員皆様の本会へのご支援をお願いすると共に、会員皆様のご多幸をご祈念申し上げます。

子どもの教育は学校に、といふこれまでの常識が大きく変わろうとしています。高度情報化の時代、世界の情報がリアルタイムで入ってきます。グローバル化が急速に進み、それに伴いさまざまな価値観にも触発されることも多くなりました。そのことが、政治、経済にとどまらず、社会生活全般にも影響を与えています。学校教育についても、他国の状況が、わが国の教育にとつても大きな関心事となっています。子どもたちの学力、生活規範意識、将来の夢など、外国の状況はどうなっているのか、さまざまな調査が行われるようになつたこともその一つの現れかと思います。ある調査では、日本の子どもたちは、将来を見据える視点が希薄で、夢は現実的、自己中心的で、生き甲斐を見いだせないでいるという憂慮される事態にあることが報告されています。外国の子どもたちとの比較だけで、早急な結論は下せませんが、教育現場に生きるような、さまざまな機会を設けていかなければならぬと考えております。

同窓生の皆さまには、これまで何かとご支援ご協力をいただいてまいりましたが、本校教育の在り方について、なお一層のご意見、ご提言を賜れば幸いです。



学校長 佐熊 晋

学校は今

子どもの教育は、学校、家庭、地域の三者が一体となつて推進めなければなりません。そのためには、これまで培つてきた学校教育に寄せる常識を根底から覆さなければならぬほどの改革も必要となつてきます。保護者はもちろんのこと、地域が一帯となつて子どもたちを育てていくという姿勢が求められる時代になつていています。子どもたちは年々変わってきています。地域の方々の学校に対する期待も変わってきています。従来の既成概念にとらわれることなく、三者が対等な立場で、連携を保ちながら、新しい学校づくりに当らなければならぬと思つてます。教職員の意識改革も強く求められています。このことを肝に銘じて、改めるべきところは謙虚に改め、保護者、地域の方々との連携を緊密に保ちながら、教育活動がよく見えるような対策を講じていかなければなりません。そのための学校評議員制度の導入、「学校へ行こう週間」の設定を始め、多くの方々が、気軽に学校教育に参加できるような、さまざまな機会を設けていかなければならぬと考えております。

ガンバレ！ 種市高校



有限会社 岩本電機製作所

代表取締役 岩本明佳 (昭和51年度 普通科卒)

〒028-7901 岩手県九戸郡種市町第12地割60番地6
TEL 0194-65-3930 (代) FAX 0194-65-3899



有限会社 海洋技研

〒030-0846 青森県青森市青葉3丁目10番地の16
TEL 017-739-5252 FAX 017-739-5265

磯崎潛水

代表 磯崎元勝 (昭和52年度 水中土木科卒)

〒028-7914 岩手県九戸郡種市町第23地割27番地56
TEL 0194-65-2002 FAX 0194-65-2009



有限会社 イワテック電子

代表取締役 岩本明佳 (昭和51年度 普通科卒)

〒028-7914 岩手県九戸郡種市町23-53-1
TEL 0194-69-1067 FAX 0194-69-1068



卒業生登場

昭和51年度卒業
高城靖雄

私は今

押忍！オツス！。何度高校時代、校舎の目の前の太平洋に向かって叫んだ事だろう。

当時、あの太平洋を見下ろす芝生の絶景の広場は、応援団長をしていた私には、最高の发声場所であった。押忍！

あれから二十七年。当時、三年生の時の担任、佐藤基先生には今もたまにお会いする機会がありますが、よく先生の家へ遊びに行き、朝まで御馳走になつた。大きな声では言えないが、大人の味も確かに覚えている様な気がする。また、先生家族

が寝静まつた頃、勝手に炊飯器から御飯を全部平らげ、我々何人かでそつと米を入れ、まるで研いでスイッチを入れ、まるで何もなかつたかの様に朝まで過ごした事が何度かあつた。

また盛り上がりつくると、友人たちはよくフォークソングを唄い始めたが、何故か私は五木ひろし、千昌夫さんたちの演歌等で調子を取り、演歌の流しへと変身するのでありました。そしてある日、体育館での行事では、五木ひろしさんの当時のヒット曲「旅鴉」を唄い大喝采を浴びた事もあった。その頃から、わかれ始め、現在の歌手としてのステップ、あこがれを感じ始め

ていたのです。

しかし、己の目標としては、伯父さんが種市町の町長をした経歴から必ず自分も町長に、という頑固な気持ちからまず学力、学歴をつけなければいかんと思ひ大学へ進学した。しかし、大学時代も脳裏から

事なく、各

ど自慢大会あるいは各オーディション番組に挑戦し始めたのでありました。そして大学四年。念願の歌手デビューを飾り卒業式のその日に体育館に於いて新曲発表会を行つた。千葉商科大学始まって以来の出来事と大学理事長は笑いながら今も言う。

さて、現在の歌手活動ですが、名前も三回目、高城やすお～水原達矢～現在本名の高城靖雄に戻し、最近はすっかりお馴染みになりましたTVC「伯方の塩」に只今出演中で、バックに「男龍」というイメージソングも流れている。もちろん神田川俊郎さんとも共演している。新曲



がんばれ！ 種市高校

◇ 映像機器 高画質 高音響 ◇

鶴 飼 電 機

九戸郡種市町大通り
TEL 0194-65-2456 · FAX 0194-65-2456



郷土の未来を拓く
梨子建設株式会社

NASHIKENSETU

本社 盛岡市高松4-20-20 (0196) 61-2411
北部営業所 九戸郡種市町39-8-2 (0194) 65-5477

種市霞工株式会社

代表取締役 松橋武志（昭和44年度 普通科卒）

〒028-7913 岩手県九戸郡種市町第25地割19番地2
TEL 0194-65-3565㈹ FAX 0194-65-3509

久慈市中町鎮座

久慈市夏井町鎮座

糸山稲荷神社

若宮八幡宮

TEL 0194-53-4086
FAX 0194-53-4120

TEL 0194-53-4064

宮司 播磨孝則（昭和44年度 普通科卒）

穏やかに弧を描いて続いている川尻海岸が目に浮かぶ。種市は私にとって忘れられぬ地である。昭和四十八年から五十八年まで、教師としての初任の時期を過ごし、娘が生まれ、幼稚園を卒業するまでの実に幸せな時期を暮らした地であった。

江戸ヶ浜にはよく出かけた。波の描く模様が実に綺麗で写真を撮つたり、砂を掘つたり、堆積の様子を基に自然から地層学を学んだ。砂だけになつた娘の手を引いて江戸の湯の前の坂を上り、妻からは洗濯物の多さ

海岸には、窓岩、戸類家、八木、小子内、有家にかけて「種市層」と呼ばれた砂岩が分布していく。休日には調査のため住宅にいることはなかった。大学生の頃、奥羽山脈の地層をテーマとしていたので、同じ時代の地層とされた種市層の岩の特徴は不思議に思われた。出勤前にも化石を探し、その甲斐あってアンモナイトは十数種類発見され、中生代終わりの地層であることが確かめられた。ほとんどが生きたまま化石になつたものであり、本州最北の後期白亜紀



秋田駒ヶ岳にて娘さんと撮影

照井一明先生

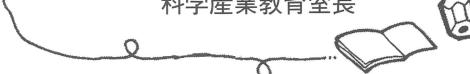
在任: S48.4 ~ S58.3

教科: 理科

現在: 紫波町在住

勤務先: 岩手県立総合教育センター
科学産業教育室長

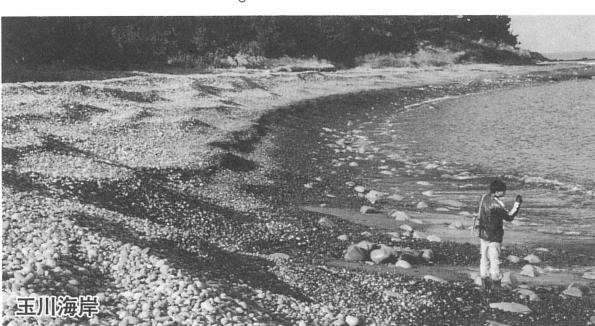
記憶に残る黄金の日々



にいつも怒られていたものであ

種市高校はまだ木造校舎であり、石炭をストーブに燃やして理科室の前には、岩石園を作った。海岸から石を採取するために角浜漁協に許可を得に、

向いたことがあつた。関係者が車座になつて協議し許してくれたという経緯があつた。海岸の岩石は火碎流の浸食されたもので、その多くは火山岩であった。



玉川海岸

こと、八戸沖の小大陸（親潮古棚）を含めて隆起を伴う地殻変動のあつたことも明らかになってきた。このことは、日本列島の中生代から新生代の、今までに知られていないかった事実であり、改めて種市層を含めて久慈・野田村の地層の見直しが、あの風景とともに当時の同僚、生徒諸君、そして種市の人々の顔が思い浮かぶのである。

の貴重な発見となつた。種市層はほとんど変動を受けることなく整然と重なり、化石の産した地層の位置もはつきりしていたため、特に北海道の生い立ちを推定する上で貴重な存在となっていた。

理科の授業でも、生徒諸君と一緒に地層の観察や、大昔の沿岸流の方向の研究、さらに地層を覆う十和田湖の火山灰の分析も行つた。まさに種市の自然を教科書として勉強したものであつた。当時の写真を見ると失敗と共に涙が出るほど懐かしく思はれる。

最近、八戸沖で天然ガスの調査のために四〇〇〇mに達する海底ボーリングが行われた。その結果、北海道と繋がる一連の堆積環境で地層が留まつてきたこと、八戸沖の小大陸（親潮古棚）を含めて隆起を伴う地殻変動のあつたことも明らかになってきた。このことは、日本列島の中生代から新生代の、今までに知られていないかった事実であり、改めて種市層を含めて久慈・野田村の地層の見直しが、あの風景とともに当時の同僚、生徒諸君、そして種市の人々の顔が思い浮かぶのである。

がんばれ！ 種市高校

有限会社 ピュア企画 ノエビア類家南代理店 ラウンジルコニー 事務所/八戸市類家5丁目6の10 TEL 0178-45-8251 ルコニュー/八戸市六日町ライオンビル(八戸館2F) TEL 0178-43-9676	代表 向谷地 ひろ子 (昭和43年度 普通科卒)	JOP 日本海洋計画株式会社 代表取締役 横尾嘉明 〒234-0052 横浜市港南区笹下1丁目1番15号 TEL 045-845-3810代 FAX 045-845-3165
豊かな暮らしのお手伝い —— ショッピングロード ——  フジモリ 代表取締役 藤森 善兵衛 九戸郡種市町23-25 ☎65-2055	東日本海洋有限会社 代表取締役 新保幸則 (昭和43年度 別科潜水工業科卒) 〒290-0051 千葉県市原市君塚5-13-11 電話 0436-22-5114	

校生徒の保護者の方も多く、改
会がありました。その中には本
PTA総会、各支部同窓会等で
多くの同窓生の皆様方と会う機
会がありました。その後、入学式、
PTA理事会、事問題を発表させたりしました。

平成十四年四月八日、新任式
(着任式)、全校生徒の前で校歌
の一曲を歌いました。この日
が二十三年ぶり、二度目の種市
高校のスタートとなりました。
その後、入学式、PTA理事会、
P.T.A.総会、各支部同窓会等で
多くの同窓生の皆様方と一緒に
川にほどちかく臥牛の山を
背にうけて毅然と建てる我が
学舎、聴けよ我等がつき鳴
らす真理希求の鐘の声

昔、学校行事の度に、飲み会
の度に声高らかに歌つた校歌、
今でも鮮明に覚えています。多くの学校を経験しましたが好き
な校歌の一つです。

和四十九年から昭和五十五年まで
の六年間、本校にお世話をな
りました。当時を思い出してみ
るとき、長い木造校舎、豪快で厳
しい先生、砂塵の舞いかう春先
のグラウンド、高校野球県大会直
前のやませ、校内ロードレース
大会、校内合唱コンクール、大
運動会の男子マスゲーム、女子
の浴衣姿での盆踊り等、すべて
が懐かしい思い出であります。

授業は、社会科の教員として
政治経済と世界史を担当させて
おりました。政治経済の授業
では、日本国憲法の前文を暗唱
せたり、五分間スピーチで時
事問題を発表させたりしました。



大鹿糠文行先生

在任: S49.4 ~ S55.3
H14.4 ~

教科: 社会科

現在: 種市町在住

勤務先: 種市高等学校(教頭)



昭和49年度撮影



がんばれ！ 種市高校

有限会社 溝口潜水工業

取締役社長 溝口幸政 (昭和48年度 普通科卒)

〒031-0071 青森県八戸市沼館4-5-24
電話 0178-22-5850

八木郵便局

局長 石橋勝彦 (昭和53年度 普通科卒)

〒028-7903 岩手県九戸郡種市町1-57-2
TEL 0194-67-2103

同窓生の皆さんにお会いすると
この二つが私の授業の思い出だと
話してくれます。
部活動は、野球部の監督をさ
せてもらいました。素質のある選手にもめぐまれ、ほぼ毎年、地区大会を勝ち抜いて県大会に出場することができました。ある地区的同窓会で、当時の選手から「監督に無理やり打撃フォームを直された」とか、「監督は挨拶・礼儀には特に厳しかった」とかいろいろ言われました。確かにあの頃の自分は強引で、ひしめきの監督だったかもしれません。思い出を語ればきりがありません。

私にとって種市高校は、教師

としての基礎・基本を学ばせてもらつた貴重な学校であります。当時の同窓生の皆様方には特に感謝申し上げます。
さて、現在の種市高校は、普通科二クラス、海洋開発科一クラス、全校生徒三百人の小規模校になつております。昔、大活躍した柔道部、剣道部、女子ソフトボール部、新体操同好会、合唱部、マンドリン部、理科部、新聞部等は現在ありません。また、種市高校独立以来からの制服が、来年度から全学年とも、完全にブレザーワー姿の制服に変わります。昔と比較すれば、少々純朴で、明るく元気な生徒の姿は、昔も今も変わりありません。挨拶などは昔の生徒たちよりも立派に出来るのではないかと思つたりもしています。

最後になりましたが、種市高校のさらなる発展のため微力ながら頑張るつもりです。

同窓生の皆様方のご協力をお願い申し上げます。

車検
一般整備
各種保険

民間車検工場

(有)水上自動車整備工場

代表取締役 水上信宏

〒028-7915 岩手県九戸郡種市町第18地割6番地の1
TEL 0194-65-2358 FAX 0194-65-4327

◆ビジネスに、観光に 格安のジャンボタクシー◆

三河タクシー

たのしい旅のパートナー 三河トラベルサービス

久慈市中央2丁目13番地 (株)三河交通観光 ☎53-6161

▼海洋開発科 初の女子入学!

船渡 かづら

私がこの海洋開発科を選んだ

理由は、兄が卒業生でいろいろ話を聞いたからです。受験を決める前はほとんどが男子の学級なのでとても不安でしたが、兄のアドバイスを受けたりいろいろ悩んだ結果、この海洋開発科にチャレンジしてみよう決意し受験、入学しました。入学時初はなかなか教室の雰囲気になじめず悩むこともありました。入學して二ヶ月を過ぎると何となくクラスにも慣れてきました。

現在では十ヶ月が過ぎ、授業の内容も分かってきて自分たちの生活のペースがつかめきました。

今私が一番頑張っているのは実習です。なかなか難しい実習ばかりですが、その中でも特に難しかったのは潜水です。テンダーの仕事が覚えられず、何回も失敗しました。今でもまだ勉強中です。あと私の中でためになつてている授業は測量実習です。

校舎外での授業では、本格的な事まで学ぶ事が出来ます。これらの私に必要な事なのでしっかりと授業を受けていきたいと思います。

今年の海洋開発科には私を含め四人の女子がいます。いろいろ

ろな話をしたり、一緒に実習を頑張ったり、これから三年間をきたいと思います。この三年間を大事にしていきたいです。



▼新人戦団体優勝部

キャプテン 普通科二年 大井 寿

僕達レスリング部は今、二年生八名、一年生五名、マネージャー三名の計十六名で活動し、毎日元気いっぱいに日々練習に励んでいます。それでは去年のレスリングの試合の結果を報告します。去年の高総体では、新入生も加わりチーム一丸となつて、打倒盛岡工業、優勝の二文字を目指し試合にのぞみました。結果でした。個人戦では、50kg級、58kg級が優勝し、インターハイ出場しました。県民体では

団体戦ではなく、フリースタイルとグレコローマンスタイルの二種の個人戦でした。全階級優勝する気でがんばりました。結果はフリー、スタイルでは58kg級が優勝、グレコローマンスタイルでは50kg級、58kg級、69kg級、76kg級、がそれぞれ優勝しました。その内、50kg級、58kg級が団体出場です。そして新人戦では三年生も引退し、高総体で達成できなかつた団体優勝を目指して試合に挑み、見事優勝することができます。個人戦でも50kg級、58kg級、76kg級がともに優勝しました。そして二月、三月には東北選抜、全国選抜があるので、その大会でも良い成績を残せるよう頑張っていきます。

平成14年度 進路決定状況

◇進学決定率 ◇ 92%

◇就職内定率 ◇ 86% (岩手県平均70%)
(普通科79%、海洋100%)

◇主な進学先 ◇ 岩手県立大学・青森大学
八戸工業大学・盛岡大学短大
県立一戸高等看護学院

平成14年度 クラブ活動

— 主な記録 —

▼レスリング部

高校総体県大会

〔団体戦〕 2位

〔個人戦〕

50kg級 館石 歩 1位

久保田和宏 1位

太田和行 2位

大井俊介 3位

竹高弘祐 2位

岩谷祐希 3位

大井寿 1位

久保田和宏 2位

太田和行 3位

大井俊介 2位

竹高弘祐 3位

岩谷祐希 1位

大井寿 1位

久保田和宏 2位

太田和行 3位

大井俊介 2位

竹高弘祐 3位

岩谷祐希 1位

大井寿 1位

久保田和宏 2位

太田和行 3位

大井俊介 2位

竹高弘祐 3位

岩谷祐希 1位

大井寿 1位

久保田和宏 2位

太田和行 3位

大井俊介 2位

竹高弘祐 3位

岩谷祐希 1位

大井寿 1位

久保田和宏 2位

太田和行 3位

大井俊介 2位

竹高弘祐 3位

岩谷祐希 1位

大井寿 1位

久保田和宏 2位

太田和行 3位

大井俊介 2位

竹高弘祐 3位

岩谷祐希 1位

大井寿 1位

久保田和宏 2位

太田和行 3位

大井俊介 2位

竹高弘祐 3位

岩谷祐希 1位

大井寿 1位

久保田和宏 2位

太田和行 3位

大井俊介 2位

竹高弘祐 3位

岩谷祐希 1位

大井寿 1位

久保田和宏 2位

太田和行 3位

大井俊介 2位

竹高弘祐 3位

岩谷祐希 1位

大井寿 1位

久保田和宏 2位

太田和行 3位

大井俊介 2位

竹高弘祐 3位

岩谷祐希 1位

大井寿 1位

久保田和宏 2位

太田和行 3位

大井俊介 2位

竹高弘祐 3位

岩谷祐希 1位

大井寿 1位

久保田和宏 2位

太田和行 3位

大井俊介 2位

竹高弘祐 3位

岩谷祐希 1位

大井寿 1位

久保田和宏 2位

太田和行 3位

大井俊介 2位

竹高弘祐 3位

岩谷祐希 1位

大井寿 1位

久保田和宏 2位

太田和行 3位

大井俊介 2位

竹高弘祐 3位

岩谷祐希 1位

大井寿 1位

久保田和宏 2位

太田和行 3位

大井俊介 2位

竹高弘祐 3位

岩谷祐希 1位

大井寿 1位

久保田和宏 2位

太田和行 3位

大井俊介 2位

竹高弘祐 3位

岩谷祐希 1位

大井寿 1位

久保田和宏 2位

太田和行 3位

大井俊介 2位

竹高弘祐 3位

岩谷祐希 1位

大井寿 1位

久保田和宏 2位

太田和行 3位

大井俊介 2位

竹高弘祐 3位

岩谷祐希 1位

大井寿 1位

久保田和宏 2位

太田和行 3位

大井俊介 2位

竹高弘祐 3位

岩谷祐希 1位

大井寿 1位

久保田和宏 2位

太田和行 3位

大井俊介 2位

竹高弘祐 3位

岩谷祐希 1位

大井寿 1位

久保田和宏 2位

太田和行 3位

大井俊介 2位

竹高弘祐 3位

岩谷祐希 1位

大井寿 1位

久保田和宏 2位

太田和行 3位

大井俊介 2位

竹高弘祐 3位

岩谷祐希 1位

大井寿 1位

久保田和宏 2位

太田和行 3位

大井俊介 2位

竹高弘祐 3位

岩谷祐希 1位

大井寿 1位

久保田和宏 2位

太田和行 3位

大井俊介 2位

竹高弘祐 3位

岩谷祐希 1位

大井寿 1位

久保田和宏 2位

太田和行 3位

大井俊介 2位

竹高弘祐 3位

岩谷祐希 1位

大井寿 1位

久保田和宏 2位

太田和行 3位

大井俊介 2位

竹高弘祐 3位

岩谷祐希 1位

大井寿 1位

久保田和宏 2位

太田和行 3位

大井俊介 2位

竹高弘祐 3位

岩谷祐希 1位

大井寿 1位

久保田和宏 2位

太田和行 3位

大井俊介 2位

竹高弘祐 3位

岩谷祐希 1位

大井寿 1位

久保田和宏 2位

太田和行 3位

大井俊介 2位

竹高弘祐 3位

岩谷祐希 1位

大井寿 1位

久保田和宏 2位

太田和行 3位

大井俊介 2位

竹高弘祐 3位

岩谷祐希 1位

大井寿 1位

久保田和宏 2位

太田和行 3位

大井俊介 2位

竹高弘祐 3位

岩谷祐希 1位

大井寿 1位

久保田和宏 2位

太田和行 3位

大井俊介 2位

竹高弘祐 3位

岩谷祐希 1位

大井寿 1位

久保田和宏 2位

太田和行 3位

大井俊介 2位

竹高弘祐 3位

岩谷祐希 1位

大井寿 1位

久保田和宏 2位

太田和行 3位

大井俊介 2位

竹高弘祐 3位

岩谷祐希 1位

大井寿 1位

久保田和宏 2位

太田和行 3位

大井俊介 2位

竹高弘祐 3位

岩谷祐希 1位

大井寿 1位

久保田和宏 2位

太田和行 3位

大井俊介 2位

竹高弘祐 3位

岩谷祐希 1位

